

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	唐津市立浜玉中学校
授業者	服部伸行、仙波颯人、白津美由紀、南里有人、井上 綾、松本通夫、小石史恵

### 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

#### 1-1. 単元名

虹の松原・浜崎海岸清掃活動

#### 1-2. 学年

2年

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、道徳、特別活動

#### 1-4. 単元の概要

本単元の取り組むテーマを「探究的な見方・考え方を働かせ、地域の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにする」と設定し、以下の資質・能力を育成する。

- ① 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- ② 地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
- ③ 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

#### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校が位置する浜玉町には、三大松原の一つ「虹の松原」や「浜崎海岸」があり、生徒たちは幼少期よりその豊かな自然環境の中で伸び伸びと育っている。しかし、近年、海洋プラスチックの問題や激甚化する自然災害の被害等により、その豊かな自然が加速度的に劣化してきている。

生徒たちは、その異変に気付いてはいるが、日々の生活の忙しさの中で忘れてしまっている。豊かな自然を後世に残していくためには、学校教育で生徒の郷土を愛する気持ちを掘り起こしていく取り組みを行っていくことが求められる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ① 地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
- ② 地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
- ③ 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。

1-7. 単元の展開（全6時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	○道徳「美しい鳥取砂丘」 (令和4年6月)	○天然記念物への心無い落書きを取り上げた教材を通して、よりよい行動、よりよい生き方を考えさせる。
	○理科自由研究 (令和4年6月～10月)	○地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けさせるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けさせる。
3	○虹の松原・浜崎海岸清掃活動 (令和4年9月8日)	○地域人材を講師や支援者として招き、自然愛護、持続可能な社会づくり等の意識の向上を図る。 ○活動を通して、郷土を愛し、誇りをもつ生徒を育てる。 (外部連携) NPO 法人唐津環境防災推進機構 KANNE
2	○海洋教育講演会「南米アマゾン川に行く」 (令和4年11月1日)	○講師のライフワーク、生き方に触れさせ、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考えたり、自ら社会に参画しようとする態度を育てたりする。 (外部講師) プロカメラマン 山口 大志 氏

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

・自然愛護、持続可能な社会づくり等の意識の向上を図るとともに、活動を通して、郷土を愛し、誇りをもつ生徒を育てる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 虹の松原・浜崎海岸の歴史・生態・現状について学ぶ。</p> <p>2 清掃の手順を知る。</p> <p>3 虹の松原清掃活動を行う。</p>	<p>・ KANNE 担当者様による講話・説明を聞く</p>  <p>・ 松原清掃活動：落ちた枝や松ぼっくりを拾う</p>  <p>・ 松原清掃活動：松葉かきにより、枯葉に埋まった白砂が現れる</p> 

4 浜崎海岸清掃活動を行う

・海岸清掃：分別をしながら一斉にごみ拾い



【評価】活動の手順を知り、協力して清掃に取り組んでいる。(観察)

5 活動を振り返る。

【評価】活動を振り返り、自然環境を守り続けていくことの大切さやこれからの自身の行動について考えている。(振り返り記述)

3. 今回の活動の自己評価

今回の学習活動を通して、生徒は郷土の名勝虹の松原の歴史や生態・現状、「白砂青松」を守り続けるための具体的方法を知り、実際に保存のための清掃活動をすることで、社会貢献に対する自己肯定感を感じたり、今後の自身の行動を考えたりするよい機会となった。

今回は総合的な学習の時間での学年全員の参加であったが、その後、KANNE 主催で行われる定期的な虹の松原清掃活動に、生徒会本部の呼びかけに応じ自主的に参加する生徒が増えてきた。

4. 今後の課題

今後は、外部連携や教師主導の活動だけでなく、生徒主体の企画・運営による活動を増やしていきたい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特記なし